

令和8年4月市長定例記者会見

日時：令和8年4月10日（金） 午前9時30分
場所：掛川市役所5階 庁議室

1 開 会

2 トピックス

- (1) 第3次掛川市総合計画を策定 【企画政策課】
- (2) 空き家活用モデル事業、次々オープン 【くらしデザイン課】
- (3) 明治時代の銅像2件を掛川市指定文化財に指定 資料1-1
【文化・スポーツ振興課】

3 情報提供

- (1) 遠州ゆるゆるガイドライド2026-春 開催 【産業観光課】 資料2-1
～ロコサイクリストたちと楽しむ自転車の旅～
と き：4月18日(土) 午前8時～ 開会式
4月19日(日) 午前8時～ 開会式
ところ：掛川市役所駐車場スタート
- (2) 第十七夜 月夜の茶摘み会 【お茶振興課】 資料2-2
～月明かりの下で茶摘み体験～
と き：5月2日(土) 午後7時30分～午後9時00分
※雨天の場合は5月3日(日)
ところ：五明地内

4 議会日程

議会全員協議会 4月16日（木） 午前9時～ 全員協議会室

5 質疑応答（進行：幹事社 SBS・朝日新聞）

6 閉 会

5月市長定例記者会見 5月12日（火） 午前9時30分～ 庁議室

掛川市記者会見 資料1-1

「岡田良一郎座像」、へいわかんぜおんりゅうぞう「平和観世音立像」を掛川市指定文化財に指定

指定書交付式を開催

市内初・中東遠初・県西部初・県内初・全国初・**珍しい**

【目的・概要】

・明治時代に制作された「平和観世音立像」（所有者：掛川市）と「岡田良一郎座像」（所有者：公益社団法人大日本報徳社）を掛川市指定文化財に指定いたします。

・「平和観世音立像」は、日露戦争で戦没した遠州地方出身兵の慰霊のため、明治40年（1907）に掛川城天守台に建立されたもので、東京美術学校教授・竹内久一（たけうちひさかず）が原型を制作しました。貴重な明治時代の彫刻作品であり、現在は富士見台霊園に移設された掛川市の歴史を学ぶ大切な文化財です。

・岡田良一郎座像は、報徳運動を推進し大日本報徳社の礎を築いた岡田良一郎の晩年の姿を写実的に表したブロンズ像で、きほく冀北学舎の門弟らが東京美術学校（現東京藝術大学）に依頼し、明治39年（1907）に制作されました。制作経緯が明確であり、当時の新しい彫刻表現を示しており、貴重な彫刻作品です。

・今回の指定により掛川市指定文化財は72件になりました。

【アピールポイント】

・「平和観世音立像」は、明治40年に掛川城公園に建立され、平成元年移設されるまで、80余年にわたって市民に親しまれてきました。原型を制作した竹内久一は、明治時代を代表する彫刻家です。

・「岡田良一郎座像」は、良一郎の倉真村の自邸に開いた私塾冀北学舎で学んだ門弟が東京美術学校に依頼し制作されました。台座裏面には、良一郎を称える漢詩が記されています。顔の表現から髪の毛、ひげの描写、着衣している和服の皺など極めて写実的に表現されています。

指定書交付式

- | | | |
|---|-------|-------------------------|
| 1 | と き | 令和8年4月10日（金） 13時30分～14時 |
| 2 | と ころ | 市長応接室 |
| 3 | 主 催 | 掛川市 |
| 4 | 参 加 者 | 公益社団法人大日本報徳社 代表理事 鷺山恭彦氏 |

- 報徳文化研究所 浅井正人氏 ほか3名
掛川市文化財保護審議会 会長 日比野秀男氏
- 5 内 容 指定書を市長より交付いたします
- 6 そ の 他 大日本報徳社において、4月12日（日）から5月3日（日）まで、岡田良一郎座像特別展が計画されています。
- 7 資料の添付 指定資料

■本件に関する担当者

文化・スポーツ振興課文化財係 山本・夏目（電話 0537-21-1158）

★あなたの夢、★
描いたつづきは
★掛川で。★

文化財指定案件について

1 平和観世音立像

1 種別 有形文化財（彫刻）

2 名称 平和観世音立像（附 石製台座、ブロンズ製香炉）

3 構造及び形式並びに大きさ等

像材質 ブロンズ

二重蓮華座 三州花崗岩

銘板 仙台石

法量 全体高 8.18m

像高 3.09m 二重蓮華座 0.96m 基壇高 4.13m

原型制作 東京美術学校（現東京藝術大学）教授 竹内久一

鑄造 鈴木鉄工部 理学士 吉田朋吉

技師 岡島奈良雄

職工長 田村清雲

石工 村石旭陵

香炉

材質 ブロンズ

法量 全体高 0.885m 香炉直径 0.62m

施主 遠州小笠郡東山口村 榛葉藤兵衛母 榛葉かく、妻 榛葉けい

製造 静岡市呉服町 朱宮孝太郎

4 員数 1

5 場所 掛川市下俣5番地の11、南西郷1291番地の1

6 所有者 掛川市

7 特徴 制作依頼 明治38年（1905）

建立 明治40年（1907）

日露戦争時に遠州地方から出征し、戦没した1059柱の御霊の冥福を祈るため、大日本報徳社社長 岡田良一郎が掛川報徳婦人積善会とともに発起人となり、遠州地方をはじめ全国に義捐金を募り「戦勝観世音像」として掛川城天守台に建立。明治40年4月開眼式を行った。

明治38年に、岡田良平が東京美術学校に製作を依頼し、彫刻科の教授であった竹内久一が担当となり、製作された作品である。製作依頼前の明治35年に、岡田良一郎は「掛川町繁昌策」と題して演説し、掛川の町の賑わいを戻すため、掛川教育植物園、観世音像の設置、漆器の製造を提案。その後、観世音像は日露戦争の開戦により遠州出征兵戦没者の慰霊として建立された。基壇の3面には遠州地方出身の軍人戦病死の勲位氏名と、発起人、賛助員の名前が刻まれている。戦後、「戦勝観世音」から「平和観世音」に名称を変更している。

平成元年（1989）に掛川城天守閣復元のため台座から取り外され、修復後、現在の富士見台霊園に移設された。

「平和観世音像」にみられるような仏像である観世音像と墓碑銘の台座の組み合わせは特異な形式である。明治時代を代表する彫刻家である竹内久一が原型を製作。竹内久一は、天平時代の仏像様式を深く研究し、それを自身の作品に取り

入れている。「平和観世音像」においても、胸飾り、瓔珞^{ようらく}、天衣^{てんえ}の意匠は、天平時代の仏像に見られる特徴を忠実に再現している。なお、観世音像の前に設置されている香炉も、同時期に製作されたものであり、平和観世音像とともに現在地に移設された。

貴重な明治時代の彫刻作品であり、戦時中の金属供出を免れたという点も含めて、掛川市の歴史を学ぶ大切な文化財である。



平和観世音像 正面



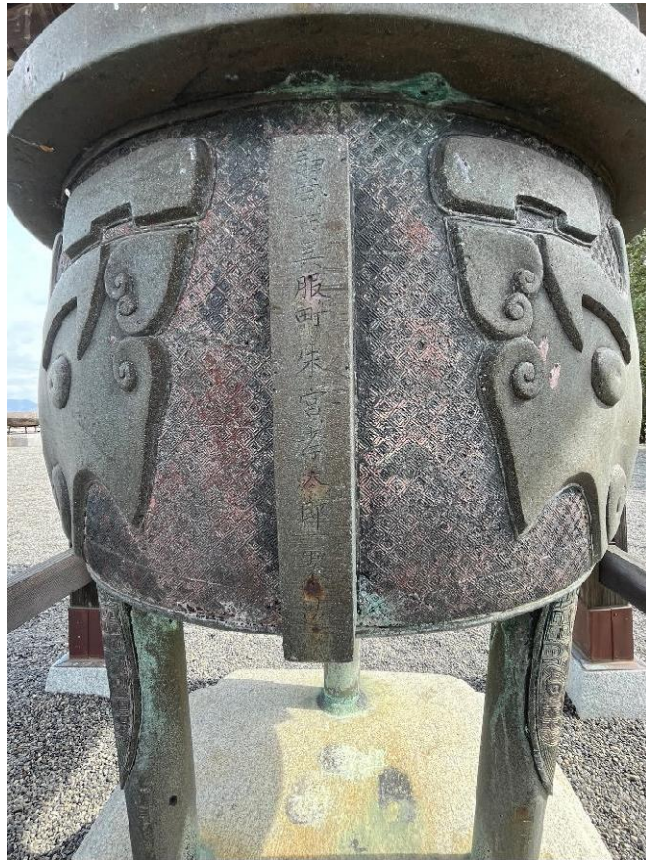
顔 正面



平和観世音像 背面



香炉 正面



制作者名 静岡市呉服町 朱宮孝太郎

2 岡田良一郎座像

- 1 種 別 有形文化財（彫刻）
- 2 名 称 岡田良一郎座像（附 木製台座）
- 3 構造及び形式並びに大きさ等
像材質 ブロンズ
台座 木製
制作 東京美術学校（現東京藝術大学） 制作者不明
法量 像高 56 cm 幅 44 cm 奥行 39 cm
台座 50 cm×50 cm 高さ 5.5 cm

4 員 数 1

5 場 所 掛川市掛川 1176 番地

6 所有者 公益社団法人大日本報徳社

7 特 徴 制作 明治 39 年（1906）

報徳運動の指導者として活躍した岡田良一郎は、倉真村の自邸に私塾冀北学舎を開いた。卒業生がその恩義に報いるため、東京美術学校に銅像の制作を依頼。明治 39 年 7 月、良一郎の自宅で贈呈式が行われた。

台座裏面には良一郎を讃える漢詩が記されており、『大日本報徳学友会報』第 52 号には贈呈式の様子と贈呈者名簿 35 名（岡田良平、一木喜徳郎、山崎覚次郎、山崎常盤など）の名が記されている。

明治 39 年の東京美術学校年報の委嘱製作一覧（『東京藝術大学百年史』）に「岡田良一郎銅像 一軀 委嘱者 山崎覚次郎」とあるが、制作者は不明である。

像は写実的で、良一郎の顔の表情など精巧に作られている。同時期に制作された「平和観世音立像」と異なり、西洋彫刻の影響を受けた作品である。

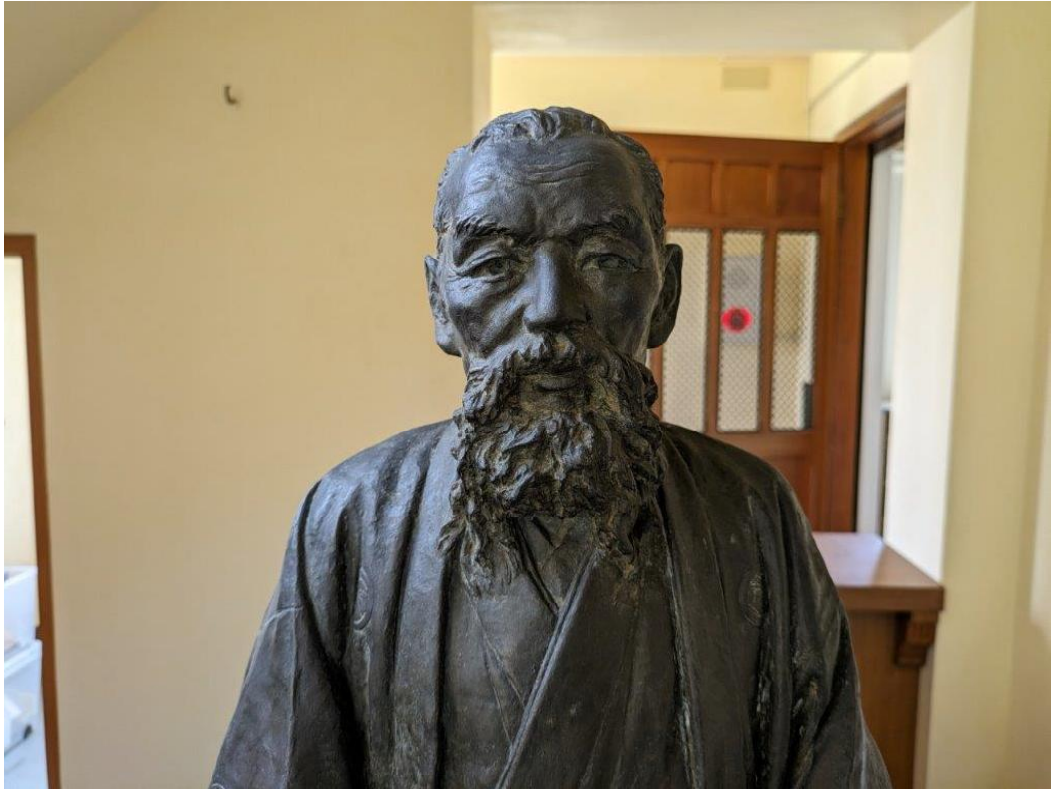
小形の作品であるが、建立の経緯が明確であり、大日本報徳社の礎を築いた岡田良一郎の晩年の姿を表現した貴重な作品である。



岡田良一郎像 正面



岡田良一郎像 背面



岡田良一郎像 上半身



台座 裏面

掛川市記者会見 資料2-1

遠州ゆるゆるガイドライド2026-春 開催
～ロコサイクリストたちと楽しむ自転車の旅～市内初 ・ 中東遠初 ・ 県西部初 ・ 県内初 ・ 全国初 ・ **珍しい**

【目的・概要】

静岡県中東遠地域特有の“ゆるゆる”とした地形・みち・気候・環境・資源を、地域固有の資源として有意義につかった面白い自転車旅を提供し、サイクルツーリズムの商品化を進めるとともに、地域の本質を提供できるローカルツーリズムの確立を目指します。

【アピールポイント】

- ・コース作成からガイドまで全てロコサイクリストが担当
- ・全コース・全行程をロコサイクリストがアテンドするガイドサイクリング
- ・サポートカーが全コースに帯同、ウェアやお土産を預けて身軽に参加
- ・各コース20名定員の少人数制、みんなで“ゆるゆる”とスポット巡り
- ・ロコサイクリストならではのマニアックな道を愉しむルート設定
- ・土地の魅力をゆっくりと味わうことができる要素があり、これからのローカルツーリズムを担う可能性を持つ観光商品

1	と き	令和8年4月18日(土) 午前8時～ 開会式 令和8年4月19日(日) 午前8時～ 開会式
2	と ころ	掛川市役所駐車場スタート（掛川市長谷一丁目1番地の1）
3	主 催	ゆるゆる遠州ガイドライド実行委員会
4	内 容	全4コースに分かれた自転車旅
5	駐 車 場	有 ・ 無 掛川市役所駐車場
6	資料の添付	有 ・ 無 イベント概要

■本件に関する担当者

産業観光課 齊藤・川西（電話 0537-21-1125）

■当日連絡先 齊藤（電話 XXXXXXXXXX）

★あなたの夢、★
描いたつづきは
★掛川で。★

報道関係の皆さまへ

ゆるゆる遠州ガイドライド実行委員会
会長 平野正俊
(掛川観光協会 会長)

「ゆるゆる遠州ガイドライド 2026-春-」取材のお願い

静岡県中東遠地域（掛川市、袋井市、菊川市、森町、磐田市、御前崎市）を中心とした、約50名の自転車愛好家（ローカルサイクリスト）たちが、基軸となるコースやプログラム、メニューづくりに主体的に関わり、サイクリング大会ではなく、ガイド付きサイクリングツアーとして、100名を超えるゲストサイクリストを受け入れて催行する国内唯一の事業が、ゆるゆる遠州ガイドライドです。

今年もゲストサイクリストの期待に応え、ローカルサイクリストをガイドに4コースで催行いたします。新緑のなか、お茶とローカルフードとスイーツとフルーツを味わいつつ、とびきり美しい風景と、思いきり面白い道程を、ガイドサイクリストがお供する自転車旅として、ゆるゆるとお愉しみいただきます。自転車による交流を続けている北海道の十勝地域をはじめ、全国のサイクリストが今年も参加予定です。

つきましては、下記のようにご案内いたしますので、ぜひ報道にてお取り上げいただきたくご案内申し上げます。

記

開催日程／2026年4月18日(土) 19日(日) 雨天実施

07:30～08:00 受付

08:00～08:15 開会式・全体ブリーフィング

08:15～08:30 コース別ブリーフィング・スタート

14:30～16:30 ゴール（各コース毎に）

集合会場／掛川市役所 駐車場 静岡県掛川市長谷 1-1-1

参加者数／約80名 全4コース×2日間

18(土)約80名 + 19(日) 約80名 = 160名（予定）

公式ページ <https://yuru2.jimdofree.com/>

スポーツエントリーページ <https://www.sportsentry.ne.jp/event/t/103925>

主催／ゆるゆる遠州ガイドライド実行委員会

主管／掛川観光協会

協賛／キリンビバレッジ株式会社 中部圏支社 静岡営業部

協力／静岡遠州観光ネットワーク、静岡県 西部地域局、遠州三みち活用ネットワーク、

トカプチ400（北海道 TOKACHI サイクルツーリズムルート協議会）

静岡県サイクルツーリズム協議会

◎詳細お問い合わせ／ゆるゆる遠州ガイドライド 運営事務局

〒436-0091 静岡県掛川市城下 5-10・1F コンセプト株式会社内 担当／佐藤雄一

T E L : 0537-22-0654 F A X : 0537-22-0786 E-Mail : satoh@conception.co.jp

ゆるゆる遠州ガイドライド 2026 -春- 全4コースの全容

A) 天空の茶畑を目指して！塩の道を巡る天浜線と E-BIKE の旅（森町）

●中級者向コース（アップダウンが多いコースです） ●走行距離 約 40km ●獲得標高（登り）600m
<電動アシスト自転車レンタル付き > ※身長 150 cm以上の方

<https://ridewithgps.com/routes/53976835>

天竜浜名湖鉄道に揺られ森町まで。そこから E-BIKE に乗って塩の道を巡ります。森町コースの塩の道は、暮らしの道であり秋葉神社へと続く信仰の道。そして徳川家康が駆け抜けた戦の道です。タイムスリップしたかのような歴史と非日常を味わえる道を E-BIKE で堪能しませんか。スイーツは森町名物のお菓子を食べ比べをしていただきます。皆さんから高評価を得た店舗に立ち寄る予定です。ランチは天空の茶畑を眺めながらの絶品お弁当をご期待ください。



●立寄り所(予定)

掛川市役所（スタート）⇒【天竜浜名湖鉄道】下り乗車（人のみ）⇒掛川市役所前駅 8:58 発 → 遠州森町 9:20 着⇒エルドラード森町で電動アシスト自転車乗車⇒太田川沿い⇒塩の道⇒三倉八幡神社 <昼食>⇒遠州の隠れ里エリア⇒森のまちなか 城下の町並み⇒エルドラード森町で電動アシスト自転車降車⇒【天竜浜名湖鉄道】上り乗車（人のみ）⇒遠州森町 15:14 発 または 15:47 発 → 掛川市役所前駅 15:35 着 または 16:10 着 ⇒（フィニッシュ）掛川市役所

B) 春の遠州三山、ご利益とスイーツ巡りの自転車旅（袋井市—磐田市）

●初・中級者向け ●走行距離 52km ●獲得標高（登り）479m

<https://ridewithgps.com/routes/53984402>

今回の袋井自転車旅は、久々に千年余の歴史を誇る 3つの寺院、遠州三山(旧遠江国の三古刹)を巡ります。尊永寺(法多山)は“厄除け”、可睡齋(万松山)は“火防守護”、油山寺(医王山)は“目の霊山”と、さまざまなお利益を授かります。新緑眩い里山の景色、風情のある旧東海道の松並木などをゆるゆると走りながら、休憩ポイントでは地元ガイド選りすぐりのスイーツをお楽しみください。



●立寄り所(予定)

掛川市役所（スタート）⇒法多山 尊永寺⇒どまん中茶屋⇒うこっけい苑⇒月見の里学遊館 <昼食>⇒万松山 可睡齋⇒医王山 油山寺⇒ 旧東海道 松並木⇒（フィニッシュ）掛川市役所

C) 旧東海道と塩の道が織りなす東遠州の文化と産業の足跡をたどる自転車旅（掛川市—菊川市）

●初・中級者向け ●走行距離 47km ●獲得標高（登り）404m

<https://ridewithgps.com/routes/53976852>

この地域は、幹線道路の「旧東海道」と駿河湾や遠州灘から信州へ塩を運搬する「塩の道」の交差点であり、人と物が頻りに往来したこれらの街道とともに発展を遂げてきました。往時を偲ぶ宿場や旧跡も数多く残されており、これらの街道の足跡を自転車で巡り、江戸の時代の息吹を実感していただきます。



●立寄り所(予定)

掛川市役所（スタート）⇒事任八幡宮⇒日坂宿⇒赤レンガ倉庫⇒小菊荘 <昼食> ⇒黒田家代官屋敷⇒（フィニッシュ）掛川市役所

D) 奥掛川の里山とマイナスイオンを感じる自転車旅（掛川市）

●初・中級者向け ●走行距離 47km ●獲得標高（登り）540m

<https://ridewithgps.com/routes/45961420>

掛川市北部の八高山から流れ出す原野谷川に沿って、里山をゆるゆると登って行けば、そこは街の喧騒から無縁の森の都。木漏れ日の中、マイナスイオンをたっぷりと浴びる自転車旅はいかがですか？ 普段立ち入る事の難しい林業施設でのイベントや、彗星発見の丘から望む一面の茶園、千と千尋をほうふつとさせる手掘りのトンネルなど見どころ満載。人気店「ファニーファーム」のお弁当、ジャージー牛乳を使ったスイーツ、王将戦の棋士達がチョイスしたおやつと掛川茶などなど、お腹も笑顔になれるかな。



●立寄り所(予定)

掛川市役所（スタート）⇒旧東海道原川松並木⇒田園滑走路⇒木の駅かけがわ⇒しばちゃんランチマーケット⇒<昼食>⇒彗星発見の丘⇒十勝や⇒（フィニッシュ）掛川市役所

掛川市記者会見 資料2-2

「第十七夜 月夜の茶摘み会」
月明かりの下で茶摘み体験市内初・中東遠初・県西部初・県内初・全国初・**珍しい**

【目的・概要】

掛川茶ファンの養成を目的に、満月の月明かりの下での茶摘み体験という全国で初めての試みとして、平成21年に始めた企画で今回は17回目の開催です。(過去2回中止含む)
「満月の夜に摘んだお茶は美味しい」という評判を元に始まった会で、参加者の皆様には体験を通してお茶への親しみや新しい価値観を持っていただくことを目標にしています。

【アピールポイント】

- ・5月2日(土)に、五明地内の茶畑で開催します。
- ・五明茶業組合は、平成30年全国茶品評会で農林水産大臣賞を受賞しています。
- ・県内外からお客様が参加する大変好評なイベントです。
- ・会場には竹灯籠が設置され幻想的な雰囲気 연출し、新茶の呈茶サービスや音楽の生演奏を実施し、掛川駅からの送迎を行います。

【日時・場所等】

- | | | |
|---|-------|---|
| 1 | と き | 令和8年5月2日(土) 午後7時30分～午後9時00分
※雨天の場合は5月3日(日) |
| 2 | と ころ | 掛川市五明地内 |
| 3 | 主 催 | 掛川茶振興協会 |
| 4 | 参 加 者 | 150名(高校生以上) ※要申込 |
| 5 | 内 容 | (1) 月明かりに照らされた茶園で茶摘み体験
(2) ランタン・竹灯籠の灯りが幻想的な雰囲気を演出、コンテスト実施
(3) 摘まれた生葉は、後日製茶して参加者の皆様にお届け(100g)
(4) 新茶の呈茶・茶菓子サービス
(5) 音楽の生演奏 |
| 6 | 参 加 料 | 1人3,000円 |
| 7 | 駐 車 場 | <input checked="" type="checkbox"/> 有・無(場所) (株)北陽(掛川市五明925-1) |
| 8 | 資料の添付 | 有・無(資料名) |

■本件に関する担当者

お茶振興課お茶振興係 萩田・本間(電話0537-21-1216)

■当日連絡先 萩田 携帯 本間 携帯

★あなたの夢、★
描いたつづきは
★掛川で。★